

単 独

設 計 図 書

(特記仕様書・位置図・工事数量総括表)

2025 年度施行

南川沿通り舗装新設工事

留萌市

特 記 仕 様 書

特記仕様書

- 20 一般事項
- 01 適用
- 01 共通仕様書

当該工事は、『北海道建設部土木工事共通仕様書』（以下「土木工事共通仕様書」という。）に基づき施工すること。

- 02 土木工事積算基準等

- 1 当該工事の設計図書は、北海道建設部が制定した次の積算基準等に基づき作成している。
 - (1) 一般土木工事
「土木工事積算要領」、「土木工事積算基準」、「土木工事工種体系化の手引き」
 - (2) 漁港工事
「漁港関係工事積算基準」、「漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
 - (3) 下水道工事
「土木工事積算要領（下水道編）」、「土木工事積算基準」、「下水道工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
- 2 「土木工事積算基準」及び「漁港関係工事積算基準」において定めている諸基準に基づき次のとおり扱っている。
 - (1) 機械施工と人力施工等の施工方法や区分は設計図面等から判断し、機械施工が困難である場合を除き、機械施工を標準として積算している。
 - (2) 特記仕様書等で別途明示している場合を除き、各基準において定めている標準工法・標準機種で積算している。
 - (3) 上記（１）（２）については、受注者の任意施工を拘束するものではない。
ただし、現場条件等がこれにより難しい場合には、必要に応じて設計変更する。
- 3 「土木工事工種体系化の手引き」、「漁港関係工事工種体系化の手引き」及び「下水道工事工種体系化の手引き」において定めている事項を、設計図書の規格・摘要欄に明示しているが現場条件等に差異が生じた場合には、設計変更の対象とする。
- 4 当該工事の数量算出書は、北海道建設部が制定した次の土木工事数量算出要領等に基づき作成している。
 - (1) 一般土木工事
「土木工事数量算出要領」
 - (2) 漁港工事
「漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
 - (3) 下水道工事
「下水道工事工種体系化の手引き・数量算出要領」

特記仕様書

03 概数

- 1 「概数として扱う数量一覧表」に示した数量は概数である。概数として扱う事項の施工に当たっては、施工後でなければ数量の確認ができない場合を除き、現地調査終了後速やかに工事監督員と協議し、数量の確定を行い着手すること。
- 2 概数の確定により数量の変更が生じた場合には、設計変更により処理する。
なお、設計に対して過大な出来形数量に変更するものではないことに留意すること。
- 3 「概数として扱う数量一覧表」で示した仮設工の工事数量は、標準的な工法により算出したものであるため、取り合い等によって新たに必要となる項目についても概数として扱う場合がある。
- 4 当該工事において、設計変更図書の作成（設計変更図面の作成及び工事数量の算出）を受注者に行わせることがある。

01 工期設定について

工期：2025年9月17日から2025年12月10日まで

工期には、施工に必要な実日数（実働日数）以外に以下の事項を見込んでいる。

①準備期間：50日間

②後片付け期間：20日間

③雨休率（実働工期日数に休日と悪天候により作業が出来ない日数を見込むための係数 実働日数×係数）：1.68

※上記の他、特別に見込んでいる日数や特別に工期に影響のある事項があれば記載する。

02 他業務との日程調整

当該工事区間で工事期間内にボーリング調査を予定している。

詳細については、工事監督員および受注者と協議すること。

特記仕様書

- 01 時間的制約を求められた場合の報告
当該工事の施工に当たり、関係機関・自治体等から通勤・通学の時間帯や周辺地域の状況により、時間的制約等を求められた場合には、工事監督員に報告すること。
- 01 中間検査
1 当該工事は、次の段階で中間検査を実施する。
（１）検査対象：アスファルト舗装工
（２）実施時期：初期転圧前(合材温度)
なお、上記以外で、必要に応じて中間検査を追加することがあるが、その時は事前に受注者へ通知する。
2 中間検査の実施に当たっては、実施可能日の7日前までに工事監督員に報告すること。
- 01 交通安全管理の仕様
交通安全管理については、設計図等に基づくものとする。
なお、地域住民・警察との協議、関連工事との調整等により変更の必要が生じた場合には、工事監督員と協議すること。
- 04 交通処理計画の提出
当該工事は片側交互通行（車両、昼間）により施工することとし、交通処理は土木工事共通仕様書及び着手前に現地状況等を確認のうえ、交通処理計画を作成し工事監督員と協議すること。
規制の基本的な考え方は次のとおりとする。
1 車道部に係る作業：片側交互通行
2 路肩部に係る作業：路肩通行規制
- 06 バリケード等の設置、誘導警備員の配置
当該工事箇所の近隣には、事業所等があるため、第三者が工事区域内へ侵入しないようバリケード・保安灯を設置すること。また、配置については、北海道開発局保安施設設置標準図に基づき適正に配置すること。

特記仕様書

- 01 交通誘導警備員の配置(片側交互通行)
当該工事の施工に当たっては、片側交互通行を予定している。次の作業期間中は交通誘導警備員を配置するものとし、施工区間前後に1名ずつ配置し、交通誘導員2名を見込んでいる。
また交代要員として、1名を計上している。
なお、毎日の作業終了後は現況幅員程度を確保することとし、一般交通等に支障がないよう安全対策を講じること。
- 04 仮歩道の設置
仮歩道は、W=2.0m以上を確保することとし、構造等の詳細については、工事監督員と事前に協議すること。
- 01 再生アスファルト混合物の使用
当該工事における再生アスファルト混合物の使用については、次のとおりとする。
- 1 再生細粒度ギャップアスファルト混合物(混合率50%) : 表層(車道部・路肩部)
 - 2 再生アスファルト安定処理(混合率50%) : 上層路盤(車道部・路肩部)
- 01 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律
この工事は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号、以下「建設リサイクル法」という）」に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。
- 01 現場代理人の常駐義務緩和について
- 1 現場代理人は、原則として当該建設工事の着手日から完成届の受理日まで工事現場に常駐し、運営取締りを行うものとする。ただし、次のいずれかに該当する期間は、工事現場に常駐を要しないことができるものとする。

(1) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間

特記仕様書

(2) 建設工事の全部を一時中止している期間

(3) 上記に掲げる期間のほか、工事現場において作業等が行われていない期間

2 次の各号のすべてに該当する場合に、現場代理人の兼務を認めるものとする。ただし、現場の状況等を考慮し、現場代理人を兼務することが適当でないと認めたときは、この限りでない。

(1) 兼務する建設工事と関連性がある建設工事若しくは、同一の工種の建設工事であること。

(2) 兼務する建設工事の請負金額が4,500万円(建築一式工事9,000万円)未満であること。

(3) 兼務ができる工事は、原則3件以内であること。ただし、災害復旧工事については、別途協議により決定する。

(4) 兼務する工事は、原則、留萌市内の公共工事であること。

(5) 工事監督員と常に連絡が取れる体制を確保できること(携帯電話や連絡責任者の配置)。

(6) 現場代理人は、兼務するいずれかの工事現場に常駐すること。

3 受注者は、同一の現場代理人を複数工事現場に配置しようとする場合は、現場代理人兼務届出書(別途様式第1号)を、市長に提出するものとする。

02 瀝青材料について

瀝青材料の散布量は、次を標準とする。

1 プライムコート : 1.26L/m²

2 タックコート : 0.43L/m²

01 設計図書に明示のない取扱い

設計図書に定めのない事象が生じた場合は、工事監督員と別途協議をすることとし、必要に応じて設計変更を行う。

概数として扱う数量一覧表

		工事名	南川沿通り舗装新設工事	当初	事業区分	道路維持・修繕		
					工事区分	道路維持		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
道路維持				式		1		
構造物撤去工				式		1		
運搬処理工				式		1		
殻運搬			アスファルト殻 DID:有 運搬距離:2.5 km	m3		38		概数
殻処分			アスファルト殻	m3		38		概数
殻処分			汚泥	m3		0.2		概数

位置図

位置図

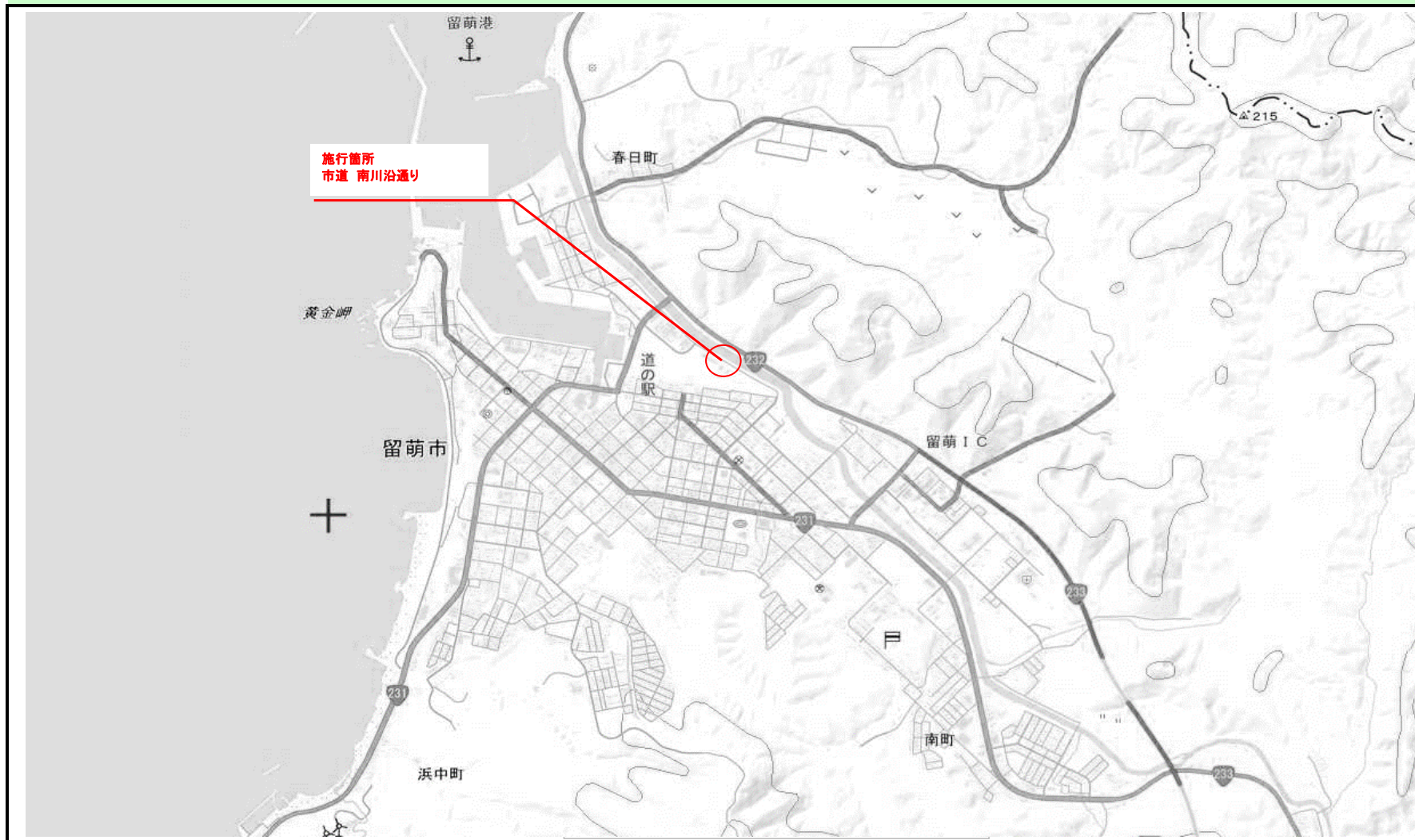
工事名	南川沿通り舗装新設工事																	
施工箇所	留萌市 船場町 1 丁目																	
範囲	起 点	北緯	度	分	秒	東経	度	分	秒	終 点	北緯	度	分	秒	東経	度	分	秒

※工事箇所の住所については施工起点の左側の住所としています。

※緯度経度については、世界測地系であり地理院地図を利用した簡易測定結果。



図面は上が北です



- <凡例>
旗揚線
 施工箇所
 留萌市
 施工箇所塗り (丸印が起点)
 建設副産物の仮置箇所
 残土処理場箇所・仮置箇所
 土取場箇所・発生土受渡箇所
 その他指定する箇所 (仮設ヤード等)
 輸送起点等

- 表示情報 (表示している情報は■)
☒ 施工箇所・施工範囲
☐ 建設副産物の仮置箇所
☐ 残土処理場
☐ 仮置場
☐ 土取場
☐ 発生土受渡箇所
☐ 輸送起点箇所
☐ その他

備考

工 事 数 量 総 括 表

工事名 南川沿通り舗装新設工事

留萌市

工事数量総括表

		工事名	南川沿通り舗装新設工事			(当 初)	事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	道路維持			
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
								現場条件		単位
道路維持				式		1				
舗装工				式		1				
舗装準備工				式		1				
不陸整正			補足材:有 切込碎石0～40mm 49mm以上55mm未満 【切込碎石 0 ～ 4 0 mm 】	m2		473		< 1 m2当たり > 不陸整正	m 2	1
アスファルト舗装工				式		1				
上層路盤(車道・路肩部)			路盤材種類：アスファルト安定処理、 仕上り厚：50mm 【再生アスファルト安定処理 A s 量 3 . 5 ～ 5 . 5 % 配合 率 5 0 % 】	m2		473		< 1 m2当たり > 上層路盤（車道・路肩部）	m 2	1
表層(車道・路肩部)			路盤材種類：再生細粒度ギャッ プアスコン、仕上り厚：30mm 【再生細粒度ギャップアスファ ルト混合物 A s 量 6 . 0 ～ 8 . 0 % 配合率 5 0 % 】	m2		473		< 1 m2当たり > 表層（車道・路肩部）	m 2	1
構造物撤去工				式		1				
構造物取壊し工				式		1				

工事数量総括表

		工事名	南川沿通り舗装新設工事		(当 初)	事業区分	道路維持・修繕			
						工事区分	道路維持			
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
								現場条件	単位	数量
舗装版切断			アスファルト舗装版15cm以下	m		86		< 1 m当たり > 舗装版切断	m	1
舗装版破碎			アスファルト舗装版8cm	m2		470		< 1 m2当たり > 舗装版破碎	m 2	1
運搬処理工				式		1				
殻運搬			アスファルト殻 DID:有 運搬距離:2.5km 【ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級】 【タイヤ損耗費 10 t 積級 良好 供用日 】	m3		38		< 1 m3当たり > 殻運搬	m 3	1
殻処分			アスファルト殻 【再資源化廃棄物受入費 アスファルト塊 小破：縦横 30～ 300mm（厚さ150mm以上は中破）】	m3		38		< 100 m3当たり > 処分費（t）	t	230
殻処分			汚泥 【再資源化廃棄物受入費 含水率85%超(ペントナイト・セメントミルク、推進、杭打、側溝、カッター等) 】	m3		0.2		< 100 m3当たり > 処分費（t）	t	110
区画線工				式		1				
区画線工				式		1				
ペイント式区画線 [中央線]			規格・仕様区分：中央線、常温式、破線、白線、W=15cm	m		50		< 1 m当たり > 区画線設置	m	1

工事数量総括表

		工事名	南川沿通り舗装新設工事			(当 初)	事業区分	道路維持・修繕		
							工事区分	道路維持		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
								現場条件	単位	数量
ペイント式区画線 [外側線]			規格・仕様区分：外側線、常温式、実線、白線、W=15cm	m		140		< 1 m当たり > 区画線設置	m	1
仮設工				式		1				
交通管理工				式		1				
(交通誘導警備員)			交通誘導警備員 B	(人日)		(6)		< 1 人日当たり > 交通誘導警備員 B	人日	1
直接工事費				式		1				
共通仮設費				式		1				
共通仮設費（率計上）				式		1				
純工事費				式		1				
現場管理費				式		1				
工事原価				式		1				
一般管理費等				式		1				

